

品川区教育委員会会議記録

平成20年 第14回 定例会

場 所 教育委員室

期 日 平成20年11月25日

開 会 午後4時06分

閉 会 午後5時25分

出席委員	委 員 長 徳岡 壽夫 委員長職務代理者 安尾 久子 委 員 細川 珠生 委 員 市川 信之助 教 育 長 若月 秀夫
欠席委員	

出席職員	教 育 次 長 市川 一夫 庶 務 課 長 田村 信二 学 務 課 長 富田 祥子 指 導 課 長 河野 美和 小中一貫教育担当課長 和氣 正典 生涯学習課長 堀越 明 品川図書館長 小川 陽子 品川区スポーツ協会事務局次長 安藤 正純
------	---

議事運営および 委員長、教育長報 告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に安尾委員、細川委員を指名。
-----------------------------	--

件名	<p>日程第1 第37号議案</p> <p>品川区立学校の学校医、学校歯科医および学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について</p>
担当課説明等	<p>(学務課長) 資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 本件は、東京都条例が改正されたことに伴い、本区条例を改正するものである。
委員質疑要旨	<p>(委員D)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改正は金額部分のみということでしょうか。
事務局説明	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 改正部分は補償基礎額等の金額のみである。
委員意見要旨	<p>(特になし)</p>
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> 原案可決

件名	<p>日程第2 協議事項</p> <p>新小中一貫教育要領の時数について</p>
担当課説明等	<p>(小中一貫教育担当課長) 資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は、第5回臨時会にて各委員からいただいた意見を基に授業時数の見直しを行い、再度協議させていただくものである。 ・ 見直した結果、すべての学年で国の基準より授業時数が1コマ分多くなっている。
委員質疑要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時数を見直したことで、何時間授業で収まるか。 ・ 他区の授業時数の状況はどうなっているか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時数を見直すにあたって、事務局としてポイントになった科目はあるか。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年間週数を35週であるとする、資料に記載の1年生の授業時数に整合性がないのではないか。
事務局説明	<p>(小中一貫教育担当課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回授業時数を見直したことで、6時間授業で収まる。 ・ 国語(1～6年生) 算数(3～6年生) 市民科は国の基準を上回った時数を設定している。 <p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他区の授業時数についてだが、他区は学習指導要領に基づいた授業時数、つまり国の定めた授業時数である。独自に授業時数を設けているのは、東京都23区では品川区だけである。 ・ 新学習指導要領では選択教科の時間がなくなったが、品川区としては児童生徒の基礎学習にとってかかせない授業であると考え、現在選択教科の時間を充てているステップアップ学習時間を残した。 ・ 1年生については、学習指導要領において、入学して1週目はオリエンテーション期間にあてているため、1年間の週数は34週となっている。そのため、35週で計算している他学年と少し変わっている。
委員意見要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学習指導要領では授業時数が増えたにもかかわらず、学校の週5日制は変わらない。これでは学校現場の負担が増えるだけである。国は、土曜日授業の実施についてもっと検討すべきである。
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承

件名	<p>日程第3 報告事項1</p> <p>小中学校の耐震診断について</p>
担当課説明等	<p>(庶務課長) 資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の耐震化状況については、12月11日にホームページにて公表する予定である。
委員質疑要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> Is値について教えてもらいたい。 Is値が0.6であれば耐震性としては十分ということか。 耐震は免震とは意味が違うのか。 <p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国のほうで補正予算の計画があるようだが、予算の使い方について考えはあるか。
事務局説明	<p>(庶務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> Is値とは構造耐震指標といい、建物がもっている耐久性能を示すものである。数値が大きいほど耐久性が高いことを表している。 建築基準法上、公共施設はIs値0.6以上を兼ね備えていなければならないとしている。しかし、学校については地域の避難場所ということから、文部科学省では通常より高いIs値0.7以上を備えるように指示をしている。 Is値0.6以上は、『倒壊し、又は崩壊する危険性が低い』ということであり、Is値0.6以上であるから絶対に倒壊しないということではない。逆に、Is値0.6以下であるから、大きい地震が発生した際に、すぐ倒壊するということでもない。 免震工事とは、建物に直接伝わる揺れを軽減する工事である。 国の補正予算については、概算要求している段階であり、来年度具体的な計画を立てる予定である。
委員意見要旨	(特になし)
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> 了承

<p>件名</p>	<p>日程第3 報告事項2 荏原西地区小中一貫校新築工事の進捗状況について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(庶務課長) 資料に基づき説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配付資料の項目3に記載してある『平成22年』を『平成21年』に訂正する。 ・ 今回検出された指定物質とは、鉛とヒ素である。 <p>(小中一貫教育担当課長) <ul style="list-style-type: none"> ・ 想定外の土壌処理を行うことに伴い、荏原西地区小中一貫校の新校舎の使用は平成22年度2学期からとなるが、開校は予定通り平成22年4月である。 </p> </p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(委員C) <ul style="list-style-type: none"> ・ 品川区で自然由来の指定物質が検出されたことは初めてか。 </p>
<p>事務局説明</p>	<p>(庶務課長) <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の自然由来の指定物質が検出されたことが品川区で初めてかは把握していないが、極めて珍しいことのようなのである。 <p>(小中一貫教育担当課長) <ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度4月から新校舎へ移るまでの間の授業等の対応については、学校長と協議のうえ方針を決定し、在校生を始め関係者の方々へ説明をしていく。 </p> </p>
<p>委員意見要旨</p>	<p>(委員B) <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全のためなので、工期が延びてしまうことは止むを得ない。 <p>(委員E) <ul style="list-style-type: none"> ・ 新校舎使用開始時期が延びてしまうことは仕方のないことである。児童生徒を始め、保護者や関係者の方々に新校舎使用開始時期が延期してしまうこと、それまでの授業の対応、工夫などを考えてしっかりと説明するようにしてほしい。 </p> </p>
<p>議事結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承

件名	<p>日程第3 報告事項3</p> <p>品川区学事制度審議会答申について</p>
担当課説明等	<p>(学務課長) 資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学事制度審議会より最終答申が提出されたので、取り急ぎ答申を配付させていただきます。 ・ 答申の概要については事務局で作成し、後日、教育委員会に報告させていただきたいと考えている。
委員質疑要旨	<p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答申は何日付けで提出されたのか。 ・ 答申を受けて、事務局としてはこれに対してどのように考えているか。 <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パブリックコメントは、事務局で項目を設定したうえで意見を集める方法をとったのか。
事務局説明	<p>(学務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 答申は、11月21日付で教育長宛に提出された。 ・ 答申の内容が多岐に渡るため十分に内容を熟読し、今後、政策にどのように反映させられるか検討していきたい。 ・ パブリックコメントを募集するにあたっては、特に項目は設定していない。 <p>(教育次長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、今回受けた答申の内容を精査し、検討していきたいと考えている。
委員意見要旨	(特になし)
議事結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 了承

件名	日程第3 報告事項4 図書館の年末年始の開館について
担当課説明等	(品川図書館長) 資料に基づき説明
委員質疑要旨	(特になし)
事務局説明	(特になし)
委員意見要旨	(特になし)
議事結果	・ 了承